



パンやお菓子づくりをしてみたかった。お客さんに食べていただく商品なので、緊張感を持って作りました。(谷常製菓株式会社)



車の構造に興味があったので楽しく取り組みました。タイヤ交換は想像していたより大変でした。(㈲オートセンター中尾)

# 地域社会を教室に 中学生の貴重な1週間

5月29日から6月2日までの5日間にわたり、市内の約90事業所で行われた「トライやる・ウィーク」。中学生は教室を離れ、製造業やサービス業などの各事業所で社会経験を積みました。それぞれの事業所で活動する中学生の様子、受け入れ事業所の指導ボランティアさんの感想を紹介します。

▼往診に同行したり、院内で治療を受けている犬・猫のお世話をしました。動物が好きなので、とても楽しく取り組みました。  
(フジモリ獣医科クリニック)



◀商品の配達や店内での整理などを集中力を切らさずに頑張りました。お客さんには大きな声で接しました。(酒久治屋)



お客さんに見えやすい商品の陳列を心がけました。(ホームセンターコーナン養父店)

## 指導ボランティアさんにお聞きしました



オートセンター中尾幸太郎さん

トライやる・ウィークで中学生を受け入れるのは今年で2回目。この事業は、自分が中学生のときにはなかったもので、実際に体を動かして仕事をするという、教室では学べない貴重な経験ができる素晴らしいものだと思います。

自分が社会に出たときを振り返ってみると、都会で育った同世代の人間と比較して社会人としての意識の差を感じたことを覚えています。自分と同じ田舎で育った子どもたちが、このトライやる・ウィークの経験を生かし、将来、少しでも早く社会に溶け込んでくれればと願います。



太陽保育園  
田中和子さん

トライやる・ウィークの一番の意義は、「中学生が地域社会に出て、いろいろな人と接するよい機会」ということだと思います。

活動初日は、正直に反応する園児らに少し照れくさそうにしていたのですが、笑顔をやさずに園児らと接する姿が印象に残っています。

1週間という短い期間でしたが、園児に対する接し方や相手の気持ちを考えて行動することの大切さを感じてほしいと思いながら指導させていただきました。



給油に初挑戦。お客さんの指示とおりの量を給油するのは難しかったです。(正垣石油(株)大屋SS)



自分から率先して仕事を見つけるように心がけました。大浴場の掃除は大変な仕事でした。(関宮温泉「万灯の湯」)

## 「竹ぼうき」を市役所に寄付



トライやる・ウィーク最終日の6月2日、山里文化研究所で活動していた八鹿中学校と青溪中学校の生徒計10人が市長室を訪れ、期間中に作った竹ぼうき8本を市役所に寄付していただきました。

この竹ぼうきは、市森林組合や八鹿町宿南地域のお年寄りなどから指導を受けて作製。八鹿夏まつりの片付けに使ってほしいと寄付をいただいたものです。